



## 企業の健全性

クロダイインターナショナル

黒田 毅

これは虚飾を得ず、その生産性と企業努力における企業構築を有することである。これらは企業の本来の使命を行い、社会的責任における自己構築を得ることである。

これは労働の意味と意義を正しく表し、社員待遇などにおいて、その公正な富の分配を行うことである。

これらは時代性とともにもその先端正の活用をその利便性や技術において求め、その製品の向上は、必ず世界における先端性を基準とする。

多様な新しい企業環境へその取捨選択を制限性を用いずに行い、自己の理念とともに企業の有する可能性を求めることである。

これは虚飾という現実が、現実における危うさを有することにおいて、質実剛健という美風を企業が要求される。

これら正しい企業計画は、その未来という可能性への参加を与えるのである。

これらは新しい企業効率性への移行において健全な利益環境の構築を与えることができるのである。

これらは社会との共生という新しい現実とともに、企業の未来への参加を与えるのである。